

## 【リビジョンアップ】

R20TS0888JJ0100

Rev.1.00

フラッシュメモリプログラマ PG-FP6 用

2022.10.16 号

プログラミング GUI 「FP6 Terminal」 V1.07.00

## 概要

フラッシュメモリプログラマ PG-FP6 用プログラミング GUI「FP6 Terminal」を V1.06.03 から V1.07.00 にリビジョンアップしました。PG-FP6 の概要は、以下の URL をご参照ください。

<https://www.renesas.com/pg-fp6>

## 1. リビジョンアップ内容

主なリビジョンアップ内容を以下に記します。詳細は、リリースノートをご参照ください。  
(10月20日より掲載予定)

<https://www.renesas.com/software-tool/pg-fp6#document>

## 1.1 サポートデバイスの追加

## (1) パワーマネジメント

グループ	型名
電池残量管理 IC	RAJ240055, RAJ240057

## 1.2 新機能

## (1) PG-FP6 本体の動作モードにターミナルモードを追加

ターミナルモードを使用することにより、FP6 Terminal やその他ターミナルソフトを使用して PG-FP6 を操作する時に、意図しない本体操作（ボタンやリモートコネクタからの入力）を防止することができるようになりました。操作対象は[NEXT]、[ENTER]、[CANCEL]および[START]ボタンおよびリモートコネクタへの入力信号となります。

## (2) フィードバック送信

メニューバーの[ヘルプ]メニューにフィードバックの送信機能を追加しました。[フィードバックの送信]フォームよりご意見・ご感想を投稿することが可能です。

## 1.3 機能改善・変更点

## (1) ブザー機能の改善

ブザー設定について、従来からの ON/OFF の他に ALL を追加しました。ALL 設定時には FP6 Terminal のすべての[ターゲットデバイス]メニュー又は FP6 本体の Commands 内のサブメニュー（START ボタンの押下を含みます。）、FP6 ターゲットコマンドに応答してターゲットデバイスの動作終了時にブザー音を鳴らします。

## 1.4 制限解除

## (1) RL78/F24 のセキュアブート対応書き込み時に関する注意事項

## 【対象マイコン】

グループ	型名
RL78/F24	R7F124FBJ, R7F124FGJ, R7F124FLJ, R7F124FMJ, R7F124FPJ

【該当バージョン】 V1.06.01～V1.06.03

## 【内容】

Key パスワードおよび MAC パスワードを指定した RL78/F2x のセキュアブート対応書き込みが正しく実行されない場合があります。その場合エラーは発生せず、不定データが書き込まれます。

【改修バージョン】 V1.07.00

## 2. アップデート方法

FP6 Terminal は無償でオンラインアップデートができます。以下の URL からインストーラをダウンロードしてインストールしてください。（10 月 20 日からインストーラ掲載予定）

<https://www.renesas.com/software-tool/pg-fp6#download>

以上

改訂記録

Rev.	発行日	改訂内容	
		ページ	ポイント
1.00	Oct.16.22	-	新規発行

本資料に記載されている情報は、正確を期すため慎重に作成したのですが、誤りがないことを保証するものではありません。万一、本資料に記載されている情報の誤りに起因する損害がお客様に生じた場合においても、当社は、一切その責任を負いません。

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。

ニュース本文中の URL を予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

本社所在地

〒135-0061 東京都江東区豊洲 3-2-24 (豊洲フォレシア)

[www.renesas.com](http://www.renesas.com)

お問合せ窓口

弊社の製品や技術、ドキュメントの最新情報、最寄の営業お問合せ窓口に関する情報などは、弊社ウェブサイトをご覧ください。

[www.renesas.com/contact/](http://www.renesas.com/contact/)

商標について

ルネサスおよびルネサスロゴはルネサス エレクトロニクス株式会社の商標です。すべての商標および登録商標は、それぞれの所有者に帰属します。